

日立パッケージエアコン ビル用マルチエアコン

冷媒 R32 を採用 地球環境に配慮した フレックスマルチ 冷暖同時型が新登場

COPを向上しカーボンニュートラルに貢献。高COPモデル TZXシリーズを224~1000型までフルラインアップ。

安全遮断弁付冷暖切換ユニットをラインアップ。
(個別タイプ:2026年6月発売予定/集合タイプ:2026年秋発売予定)

exiida遠隔監視でのフロン排出抑制法簡易点検代替に対応

* 本対応には「exiida遠隔監視」のご契約および簡易点検サポートサービスへの申し込みが別途必要になります。

その他の特長

- 大型ゆかおき(8・10相当馬力)、厨房用てんつり接続可能
- 寒冷地運転対応(TGXシリーズ)
- 25°Cまで暖房運転可能、-7°C^{※1}まで定格能力維持 ●-15°Cまで冷房運転可能^{※2}

※1. 寒冷地機能設定時(現地設定)で全暖房運転時。224~1000型まで。

※2. 暖房主体運転(室内暖房容量>室内冷房容量)かつ 室内冷房容量が室外容量の50%以下の場合。

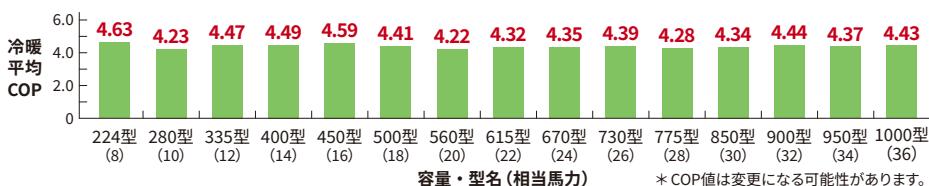
■ラインアップ

シリーズ	型式(相当馬力)	224型 (8)	280型 (10)	335型 (12)	400型 (14)	450型 (16)	500型 (18)	560型 (20)	615型 (22)	670型 (24)	730型 (26)	775型 (28)	850型 (30)	900型 (32)	950型 (34)	1000型 (36)	1060型 (38)	1120型 (40)	1180型 (42)	1220型 (44)	1280型 (46)	1360型 (48)	1400型 (50)	1450型 (52)	1500型 (54)
NEW 高効率TGXシリーズ 高効率プレミアムモデル	● ● ● ● ● ● ○ (2) (2) (2) (2) (2) (2)	● ● ● ● ● ● ○ (2) (2) (2) (2) (2) (2)	● ● ● ● ● ● ○ (2) (2) (2) (2) (2) (2)	● ● ● ● ○ (2) (2) (2) (2)	● ● ○ (2) (2)																				
NEW 高効率TSXシリーズ 省スペースモデル	● ● ● ● ● ● ○ (2) (2) (2) (2) (2) (2)	● ● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)		
NEW 高効率TZXシリーズ 高COPモデル[受注対応]	● ● ○ (2) (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)	● ○ (2) (2)		

● : 単体ユニット ○ : 組み合わせユニット * 表中の()は、構成ユニット台数を示します。

ZEBを検討されている方には高COPモデルのTZXシリーズ(受注対応)がオススメ

● [高COPモデル TZXシリーズ] (受注対応)



ZEB : Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

出典：環境省HPより

冷媒 R32 の採用で環境影響度の目標達成度「A」^{※1}を達成

従来の冷媒R410Aに比べて地球温暖化係数^{※2}が約3分の1^{※3}の冷媒R32を採用。これにより、フロン排出抑制法に基づく環境影響度の目標達成度「A」^{※1}を達成しました。さらに、冷媒R410Aに比べ冷媒封入量が少ないため、地球温暖化の抑制に貢献できます。

※1. フロン排出抑制法に製品ごとに定められたフロン類からの転換目標値を達成したものを「A」とし、転換目標値に対する達成度合いに応じて多段階で表示する記号。

※2. 地球温暖化に与える影響を数値化したものを示します。数値が大きいほど温暖化への影響が強いことを示します。

※3. 出典「IPCC 第4次評価報告書」温暖化係数(GWP)100年値。温暖化係数2090(HFC-410A)と675(HFC-32)の比較。

※4. 当社「フレックスマルチ 高効率TGXシリーズ」280型の冷媒封入量における比較。

JIS制定フロンラベル

冷媒R32は2025年度目標値(GWP:750)をクリア



● 冷媒R32と冷媒R410Aの比較	
地球温暖化係数(GWP)	出荷時冷媒封入量 ^{※4}
2,090	9.1kg
約67%ダウン	8.0kg

HITACHI

2026年6月発売予定

NEW



RAS-GP280TGX

[冷暖同時型]

FLEXMULTI

フレックスマルチ

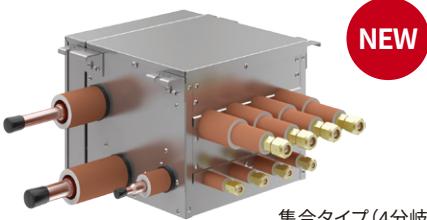
* チラシに掲載の写真はイメージです。外装色はナチュラルグレー(マンセル記号:1.0Y 8.5/0.5)で從来機と同じです。

安全遮断弁付冷暖切換ユニット

冷暖切換ユニット(個別タイプ・集合タイプ)に 安全遮断弁付が新たにラインアップ

冷暖切換ユニットに冷媒R32の安全対策となる安全遮断弁機能が付いたため、冷暖切換ユニットを組み込んだ冷暖同時システムは安全遮断弁を新たに設置する必要がありません。

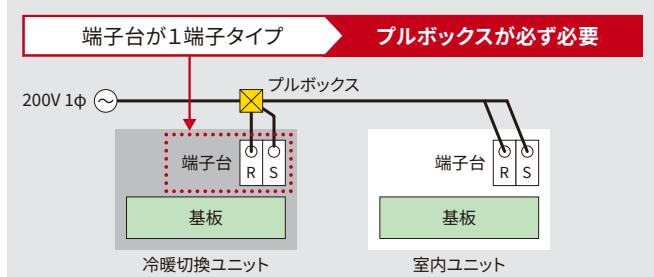
(個別タイプ:2026年6月発売予定/集合タイプ:2026年秋発売予定)



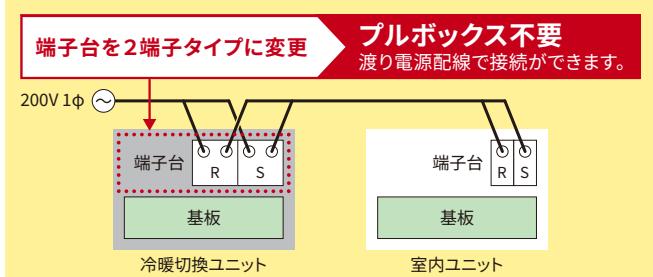
集合タイプ(4分岐) CH-GP04MTSX
*写真はイメージです。変更になる可能性がありますのでご了承ください。

冷暖切換ユニットの接続に、ブルボックスが不要になりました!

【従来】冷暖切換ユニット



NEW 安全遮断弁付冷暖切換ユニット



ねじ接合継手を同梱※

JRA GL-16の改正に伴い天井裏の扱いが変更となり、天井裏で冷媒配管をフレア接続する場合は、安全対策の検討が必要となります。そのため、従来はフレア接続としていた冷暖切換ユニットの配管接続部をねじ接合継手またはろう付けにすることで、配管接続部における安全対策の検討を不要としました。

※ 同梱機種: 個別タイプ 160型、集合タイプ(室内ユニット側)。個別タイプ 280型および集合タイプ(室外ユニット側)はろう付けになります。

■仕様表

* 2026年1月時点での暫定値となります。変更となる可能性がありますのでご了承ください。

項目	機種名		個別タイプ	
			CH-GP160TSX	CH-GP280TSX
電源	-		単相200V 50/60Hz	
室内ユニット接続可能合計容量	-		160以下	161~280
室内ユニット最大接続台数	台		7	8
接続配管径	室内ユニット側	液配管	mm	φ9.52
		ガス配管	mm	φ15.88
	室外ユニット側	液配管	mm	φ19.05
		低圧ガス配管	mm	φ15.88
		高々圧ガス配管	mm	φ12.7
ドレン配管	-		不要	

項目	機種名		集合タイプ		
			CH-GP04MTSX	CH-GP08MTSX	CH-GP12MTSX
電源	-		単相200V 50/60Hz		
分岐口数	-		4	8	12
室内ユニット接続可能合計容量	-		448以下	850以下	
1分岐あたりの室内ユニット接続可能合計容量	-		160以下		
1分岐あたりの室内ユニット最大接続台数	台		6		
接続配管径	室内ユニット側	液配管	mm	φ9.52	
		ガス配管	mm	φ15.88	
	室外ユニット側	液配管	mm	φ12.7	
		低圧ガス配管	mm	φ25.4	φ28.58
		高々圧ガス配管	mm	φ22.2	φ25.4
ドレン配管	-		不要		

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号

〈営業拠点〉

- 北日本支社 (022) 266-1321 ● 関東支社 050-3154-3967
北海道営業所 050-3142-0621
- 中部支社 050-3144-9820 ● 西日本支社 050-3181-8201
北陸営業所 (076) 429-4051 中国支店 (082) 240-6152
- 九州支社 050-3142-0629 四国営業所 (087) 833-8701

■製品の色は印刷されたものですから実際の塗装色とは若干異なります。

このチラシに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。



ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを

信用と行きとどいたサービスの当社へ

印刷・発行: 2026年1月 SR-620

Printed in Japan(B)